

# 平成27年度の活動記録(7月)

## 第7回(7月6日) ◎七夕づくり ☆

参加者数  
対象者：21名  
協力員：13名

- 今日はみんなで「7月の風物詩」七夕飾りをつくりました。
- 願いごとを書いた色とりどりの短冊や飾りを天に向かってまっすぐ伸びる笹の葉につるし、星にお祈りをしましたね。
- 星に願いをかけるとき・・・  
あなたがどんな人であろうとそんなことは関係ない・・・  
あなたが心に願うことは何でも・・・  
かなうでしょう (ディズニー映画から「星に願いを」 訳)



↑今年のお願いは？  
みんなで飾り付け→

◎本日のおやつ



水ようかん



最後は全員そろって「はいチーズ」

## 第8回(7月27日) ◎交通安全教室



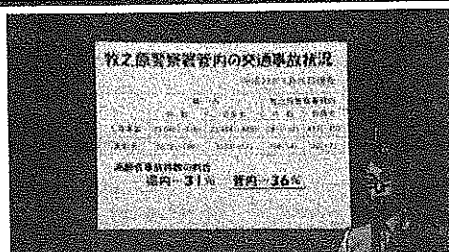
参加者数  
対象者：24名  
協力員：10名  
交通安全指導員  
水口さん、江川さん

- 今日は交通安全指導員をお招きして交通安全教室を開催しました。
- 前回の教室は去年の11月でしたので、ほぼ8ヶ月ぶりの開催でありました。
- この間に自転車の運転に関する法律が変わったり、高齢者が関係する人身事故が増加したりと、私たちを取り巻く交通環境が変化して来ていますので、そのあたりを中心にしっかりと教えていただきました。
- また、前回の教室でも教わりましたが、夜間の外出には必ず反射材(自発光式を含む)を身につけましょう・・・とのことです。



水口さん

江川さん



「高齢者の事故が増加しています」



「かかとの反射材はこうして付けます」



今日も力作が並びました

### 自転車7ポイント

自転車は原則 歩道を通行できません。但し、運転者が13歳未満もしくは70歳以上、または身体に障害を負っている場合、あるいは安全のためやむを得ない場合はこの限りではありません。

### ◎本日のおやつ



みつまめ

# 残暑

## いきいき歳時記・8月

### ●この時季の合言葉「暑いですね」

日本の夏を象徴するセリフですが、暦の上では8月8日は二十四節気の立秋。「秋来ぬと目にはさやかに見えねども 風の音にぞおどろかれぬる」などと昔の歌人は風流に詠っております。

しかし、これからは残暑が厳しくなります。大地に差し込む日差しはまだまだ灼熱の暑さです。熱中症に倒れる方々が後を絶ちません。身体が暑さに慣れてきたこの時期、幾分減少気味とはいえ、今年は梅雨明け直後からの急激な気温上昇で熱中症患者が続出だったようです。

### ●日本の夏に、「ひと涼み」を

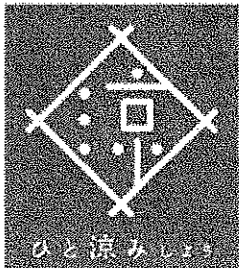
熱中症を少しでもなくすため「ひと涼み」という日本らしい習慣を世の中に広げていくプロジェクトがあります。

さまざまな人たちが、さまざまな形で「ひと涼み」を呼びかけたり、提供したりしていくなかで、「ひと涼み」の輪を社会全体にひろげて行こうというこのプロジェクト＝「ひと涼み」で、日本の夏をいい夏に！・・・ぜひ実行してみたいですね。

### ●「ひと涼み」の気遣いは、やがて絆へ

体力がないお年寄りや子どもは、熱中症になりやすいものです。家族、同僚、友人、近隣に対する気遣いとして、「水分とってる?」、「ちょっと、ひと涼みしませんか」など、相互に声かけを行うことで、熱中症被害を防ぐ事ができるばかりか社会全体に新しい絆が生まれるかもしれません。

からだは涼しく、心は暖かく。コミュニケーションが命を救います。



## ～になります？

布施 清一



先日、とある食事処に行ったところ、店員さんから「こちらがメニューになります」、「(ご注文の)カレーライスになります」、食べ終えてからは「お会計は〇〇円になります」そして最後は「領収書になります」と、「～になります」の連発に遭遇いたしました。

何かヘンですよええ。最初からメニューと呼ばれうるもの、カレーと呼ばれうるものを持ってきておいて、あたかもこれから変化して「～になる」ような表現は。

ほかにもオチサンには「おやっ」と首をかしげる言い方が最近飲食店を中心に増えたような気がします。「おタバコの方お吸いになられますか?」とか「ご注文は以上でよろしかった(大丈夫だった)でしょうか?」とか「一万円からお預かりいたします」等々です。

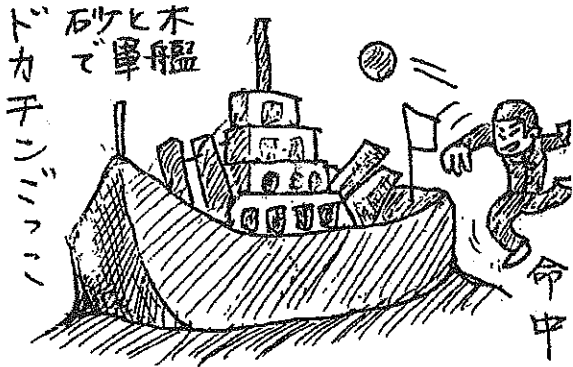
少し調べてみたところ、これはある種の丁寧さを表す表現のようで、当初ファミリーレストランやコンビニエンスストア(および居酒屋、ファーストフード等)の若い店員が使いたしたものらしく、「ファミ・コン敬語」あるいは「バイト敬語」などと呼ばれ、若者の言葉の乱れの一つとされているようですが、最近ではかなり広範に使われているようにも思えます。

この一連の言葉なのか分かりませんが最近「××してもらっていいですか?」というものがありますね。謙虚で丁寧な言い回しのようにでいて、少々押し付けがましく感ずるのは私だけでしょうか?しかし、少々へそ曲がりでも実直で気の優しいオチサンは「××してもらっていいですか?」と言われると内心「ムッ」としながらも素直に「はい」と応じるのであります。

コーヒーでございませ



# なつかし記・さがら 戦時中の子供たち



**英国東洋艦隊潰滅**  
 滅びたり滅びたり敵東洋艦隊は マレー半島クワンタン沖に 今ぞ沈みゆきぬ  
 勲(いさお)し赫(かく)たり海の荒鷲よ 沈むレパルス沈むプリンス・オブ・ウェルズ  
 ( 作詞 高橋掬太郎 作曲 古関裕而  
 昭和十六年十二月)  
 たぶんこんな歌をうたいながら遊んだのでしよう。  
 この画からも歌声が聞こえてきそうです。

画 澤田 翰 (たかし) 氏

皆様のご意見や思い出話をお待ちしております

## 相良今昔物語 澤田 翰 (たかし)

(先月号「つたやさん」の続き)

「話が横道にそれますが、以前には富さんと言う大親分があり、「相良の富さん」の名で、法多山の賭場まで抑えていたとかいう遠州切つての暴れん坊で「相良の富さん火事よりこわい、火事じゃ裸にされやせぬ。」というはやり唱が歌われた程でした。どこで生まれ たかは不明ですが、たぶん葛屋の賭場も彼の出入りがあった事でしょう。子供の頃から、「屋台はどこだ、つたやの前だ。」と流行言葉がさ組の屋台にはやされる処です。

「尾張屋」さんは、その昔尾張の地からこの処に呉服店を開かれ、大層はやった様ですが、現住の武さんの叔父が帝大(現東大)に行かれ呉服店を妹さんが継がれましたが、今はサラリーマンになっておられます。

現道路上に「満喜多」という一杯屋つまり小料理店がありました。引けた後、当時の区会の人々の努力で現在の様に相良海水浴場迄の大通りが開かれ、裏に戦時中に国策として町中の車を集めて「大井貨物自動車会社」が設立され、戦後ハチボシの先代八郎氏に依って東京大阪間でも有数な「相良貨物自動車」という大会社に迄成長しました。

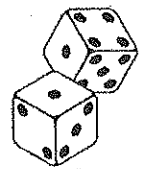
(原文のまま・以下次号へ続く)



屋台はどこだ

### 「法多山の賭場」

江戸時代、寺社は寺社奉行支配で治外法権でした。で、町奉行の力がおよばない寺や神社で賭場を開帳することが多くなり、バクチの上がりを「寺銭」などと呼ぶようにもなったそうです。



### これからの いきいき予定

- 8月17日：健康講座
- 9月 7日：公民館まつり用作品作り
- 9月28日：公民館まつり用作品作り



相・福 いきいきだより  
 笑顔がいいねっ！！  
 発行  
 相良・福岡いきいきクラブ  
 編集  
 いきいき協力ボランティア